

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・こぎつねくらぶ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		～ 2025年 2月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日		～ 2025年 2月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団での活動を主としているので、集団行動の定着が早いところではあります。	必ず毎日集団行動の時間を作っています。 療育の前には集まり、座ってお話を聞きます。 椅子を使い、自分がどこに座るかを視覚的に示したり、遊びを終えたくなくて集まらない児童には「みんなは今、どこにいるかな?」「ちょっとだけでいいから参加してみよう!」と無理なく参加できる様に声をかけています。	PDCAサイクルを使い、その活動を継続していきます。
2	職員の質の高さと配置人数が多いところではあります。 法令人員よりも多く配置することで、子ども達の見守りの強化と子ども達の声を聞き漏らす事なく支援にあたれています。	子ども達のすぐ近くに職員を配置することで、子どもたちの「今!」感じている気持ちを聞けるようにしています。 また、子ども達の気持ちを決して否定せず常に寄り添い、常に味方であり続けます。	研修を通して、知識をつけます。 資格を取得し(国家資格、民間資格含む)専門性を高めていきます。
3	年間を通して行事が多いことです。 お楽しみ会や納涼祭、クリスマス会はもちろん月に一度は遠足に行きます。 施設の内外問わず、子どもたちに家庭や学校以外での沢山の経験をしてもらいます。	遠足の行き先は飽きがないように場所や活動内容を選定しています。 子ども達とどこに行きたいか一緒に考えてもらい、同じ場所であっても内容を変えたりと工夫を行っています。	保護者やきょうだいの参加できるようなイベントを考えていきたいです。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	発信が得意でないところではあります。	今回のアンケートで事故防止、緊急時対応、防犯や感染症等のマニュアルが策定されていることや発生が想定された訓練の実施が周知されていないことに気づきました。 また、ホームページやSNSの更新の低さもその要因だと考えられます。	SNSの充実を図ります。 更新する曜日を決め、担当制を導入します。
2	ご家族との交流の場がないところではあります。	現在、利用してくれている児童中心の活動を考えて実行してきました。 その日の利用児童と職員に加えご家族も一緒に活動していただく場所の確保が出来ていないところではあります。	ご家族参加型のイベントを考えていきたいです。 一日の利用定員もありますので、どんな日程を組むのか、どの場所とするのか、駐車場を含むご家族の来所方法をどうするのかを検討していきます。
3	ペアトレーニングの実施がない事と家族で参加できる研修会の機会がもてていないところではあります。	こぎつねくらぶでの開催は場所や駐車場、時間の問題もあり現状難しいと考えています。	外部での研修の情報があればSNS等で周知させていただきます。 こぎつねくらぶでの開催は様々な問題を考慮し、検討させていただきます。